

Interview Transcript: 2017 Oikawa [7:44]

この町として残していきたいっていうのは、まあ震災で地震とか津波で有名になった町ですけども、その自然の怖さっていうの、すごく間近に被害として受けたんですけどやっぱりね、この町は自然と共に生きてきた町なんですね。あの、海でお魚とったり、で、山で農作物作ったり、とにかくこう自然と密接な関わりを持って生きてきた町なので、やっぱり残して行きたいっていうのは、あの、まあ、怖さもありますけど、その自然の恩恵を受けてきたっていうことを、町の人が常にこう意識して、感謝して、え〜、この町で暮らしてくってことをね、あの、子供の頃からいろんな形で、やっぱり野山駆け回ったり、こう海でいろんなもの取ったり、そうした体験からやっぱり自然がいいなって思うようになるので、こうインターネットとか動画とか見たり、こう何か文章を見たりして気づくんじゃなくて、もう自分の体験として、やっぱり自然がいいなって思えるような、そういった環境残していくことがいいのかな。この町の良さってそういうところかなとも思います。

うちもね、あの、家族、えー、震災当初は、まあ、私仙台にいたんですけど、こっちにいた家族四人いたんですが、えーと、震災で兄と父を失ったので、男でがもう私しかいなくなったので、まあ、もうすんなり戻ろうかなと、そんなに葛藤もなく、うん、まあ自分が何とかこう生き残った家族を守らなきゃなっていう、まあ、あんな目にあっても町に戻りたいって言ったんで、じゃあ俺も仕事辞めて戻ってくるから、まあしばらくは仮設ぐらしだろうけど、ようやく先月引っ越して町に戻ってきました。

で、レストランのメニューも、まあこれまでと大きく違うのは、なるべくね、あの、地元の食材とかを使って、この町で有名な食材とか、そういったものをメニューに取り入れて、せっかくこう美味しいものとか面白いものいっぱいあるので、それをいろんな形で、あ、こうやって食べると美味しいんだとか、こんな食材あったんだとか、そういうの知ってもらう場にレストランがなればなと思って、メニューも、うーん、自分なかでやっぱり驚いてもらうのも好きなので、あの、何このメニューとか、こうちょっとヘンテコでも、どこに行ってもあるようなメニューは、どこに行っても食べてもらってもいいですけど、やっぱりここにしかないメニューを作って、まあ、その味は普通でも、見た目とか調理方法がこう珍しいから頼んでみたとかでも、きっかけは何でも良くて、そんな些細なことでも、こう町と繋がり持つて来れたらすごいやってる意味もあるし、こう、うん、自分個人として出来ること

は限られてるので、まあレストランをやっている中で、やはり料理に関してこう反応してもらえるのはすごく嬉しいですね。

あの、この町、こう震災で市街地の七割が無くなる、壊滅して、ほぼ、こう真っ白、まっさらな状況で復興がスタートしてきたので、こうなくなってしまったっていう悪い面もあるんですけど、新しく作れる、こう見方を変えればチャンスなんですよ。なので若い人たちも、どんどんこれやりたいとかあれやりたいっていうの実現できるチャンスでもあるんで、今、都会から、あの、南三陸町に移住してくる若い人も結構いるんで、そうした人たちと、こう新しい町を作って行けるっていう、盛り上げていけるっていうのが、こう自分が戻ってきて一番、こう充実してるなっていう思える時かなと思いますね。

まず一番懸念してることは、やっぱり震災でたくさんの人にすごい支援してもらって助けてもらっていたいて、当時、まあ、今もなんですけど、もちろん感謝の気持ちとか、我々が今後できることは何かとか、常々考えてはいるんですけど、やっぱり、こう気持ちとかこう記憶が薄れてくのは、すごく、今後どうして行こうかなと思ってるので、うん、懸念してるというか、やっぱり人のこう感情の移り変わりや記憶の移り変わり、そこね、どう維持してって、ここの町にあったこと、震災当時の風景はもうなくなりつつあるので、それをどう伝えてくるか、で、当事者も五十年も経てば大体みんなね、その当時の子供たちでさえおじいちゃんおばあちゃんになるので、やっぱり薄れていくものをどう残していくか、伝えてくかというのを、みんな考えていかなければ、この町の人はずっと、あの、この町を失ってから、町の大切さとかに気づかされてしまったので、やっぱり、みんなが住んでいる、今住んでいる場所もそうですし、まあ生まれた国とか場所、なかなかこうずっといった場所だから大切さに気づくのは難しいんですけど、あの、ね、自分の住んできた環境がすごく素敵なんだっていうことを、もう1回見つめなおすいいきっかけに、まあこのインタビューとかもそうですし、皆さんいろんなところに行った時、この町はこうだけど自分の町どうだったかなとか、そしたら、まあ、友達とか家族とか自分の故郷とか、今まで接してきたものの大切さっていうのに、ちょっとでも意識すれば、また見え方も違うし考え方も変わってくるので、素直な今の時期にそうしたものに触れてもらおうとすごく嬉しいなと思います。